秋学期始まる

今夏最後の猛暑日と予報が出る中、新学期がはじまりました。

以前お知らせしましたが、4年生は、第1回授業で履修カルテを提出するよう指示されています。初回の授業に提出しなかった場合は9/26（金）までに直接教職課程センターに提出してください。

9月13日から「東京世界陸上2025」が開催され、連日白熱した戦いが繰り広げられています。これほど多くの種目に日本人が参加していることに驚かされる毎日です。また、何人もの選手が、予選だけでなく、準決勝どころか決勝にも勝ち進む姿に驚愕します。

このように、僅かな先人の偉業を乗り越えていく選手には、指導者がいて、仲間がいます。これらの指導者は、自分の成績をはるかに凌ぐ結果を選手に導いています。指導者たちは、自分の経験だけではなく、日進月歩に輪をかけ加速していく科学分析により、練習方法の改善指導が求められ、探究しつづけています。選手自身も、自らの目標を意識して練習計画に主体的にかかわる発言が多く聞かれます。

初めて世界大会に出場したある選手は、世界記録を持つ選手と同じ組を走りました。結果は及ばずではありましたが、“その走る後姿を見た、スピードを知った”ことにより、練習で目標を見定め捉えながら走れると次の目標を話していました。今更ながら、既に「根性論」は消え去り、「根拠のある努力」時代が結実していることに感動しています。教育の場に立つ者も、教え方は多様化する中で、個に応じた効果的な教え方だけでなく、生徒の学び方の探究も求められていきます。

さらに男子110mハードルに出場、5位に入賞した村竹ラシッド選手は、今回メダルを狙っていたため、報道陣の前でも号泣していました。「何が足りなかったんだろう」と。そして、報道陣から離れた時、観客席に中学校陸上部顧問の恩師を見つけ、号泣しながら、ラシッド：「何がいけなかったんだろう」恩師：「かっこ良かったよ。いけなかったことなんかないよ。」恩師は彼にハードルの素質を見出した指導者です。中学時代の練習はきつかったとラシッドは言います。先生は、「そんなことはありませんが、試合の時自分のレースが済んだら他の選手を応援すること。みんなに愛される選手になろう。応援されるチームになろう。と指導しました。」彼の人柄の原点を育んだのです。

一方で、戦禍の中、多くの命が失われている報道が続いています。この場に立つことが許されなかった選手も多くいることでしょう。「教育」は一步間違えれば、恐ろしい結果をもたらします。戦前の日本だけでなく、いまだに世界で戦禍の種を巻いています。けれど、「教育」は素晴らしい結果ももたらします。この違いはどこにあるのでしょうか。

いじめの根源でもあるかもしれない「正義」は、立場が変われば逆転します。世界は「正義」の名の下、戦争を繰り返してきていることは歴史から明らかです。けれど、小さな「正義」もまた、日常にあって諍いを起こしています。「NHK連続テレビ小説あんぱん」では、“どの世界でもどの人にも変わらない「正義」は何か”をテーマに創作活動を行ってきたやなせたかし氏に焦点を当てています。

教育に携わろうとする皆さんには、このテーマについて、しっかりと考えてほしいと思います。

神奈川県採用試験結果

神奈川県教員採用試験結果が出ました。

今年度の倍率は上昇し、難しい結果となりました。

待遇面の改善が功を奏しているのか、高等学校の倍率は上昇しています。

神奈川県 HP では、合格基準等も公表されています。興味のある方は、自身でデータを確認してみましょう。

早めのスタートは大事です！

2年生3年生の皆さんには採用試験受験の意思確認と共にロードマップを送りました。

これからの予定を確認のためにも必ず送り返してください。敵をよく知り己を知ることから始めましょう。

教科	校種等	年度	一次試験 合格倍率	二次試験 合格倍率	倍率	
数学	中学校	R6	1.6	1.7	2.9	↑
		R7	1.1	1.4	3.0	
	高等学校	R6	1.3	2.0	2.7	↑
		R7	1.3	2.2	3.4	
理科	中学校	R6	1.3	1.5	2.2	↓
		R7	1.4	2.2	1.6	
	高等学校	R6	1.4	2.2	3.1	↑
		R7	2.3	3.1	3.5	

中教審ニュース

9月5日、中央教育審議会教育課程企画特別部会において、「学習指導要領」の改訂に向けたこれまでの議論の論点をまとめた報道されました。生成 AI などデジタル技術の進展に対応するとともに、不登校など子どもの特性に応じた多様な学びを重視する方針も示しています。ぜひ、ホームページで確認しておきましょう。次は、資料1 論点整理（素案）からの抜粋です。

補足イメージ1-①

次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方

多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに

あらゆる方策を活用し、三位一体で具現化

5

10月の TRY

新たなことば「～自らの人生をかじ取りすることができる民主的で～」とあり次ページに続いています。10月の TRY として、この趣旨を理解し、なぜ必要なのかを70字でまとめてみましょう。

「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じた

自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手育成

補足イメージ1-②

(今後の検討イメージ)

「好き」を育み、「得意」を伸ばす
(興味・関心)

当事者意識を持って、自分の意見を
 形成し、対話と合意ができる